

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月22日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
広島県三原市沼田西町小原字袖掛73-5

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
株式会社やまみ 代表取締役 山名 徹
(代理人)滋賀工場長 前田 晃宏

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 ← 第25条第4項
第27条第1項 ← 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社やまみ 代表取締役 山名 徹
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	広島県三原市沼田西町小原字袖掛73-5

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社やまみ 関西工場						
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町さつきが丘16番地						
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	9	9	3	※ 産業分類・細分類名称を記載	
事業の概要	豆腐・油揚げ製造業						
従業員の数	260	人	作業時間	24	時間/日		
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	5	台	熱源設備	台	照明設備	台
	コンプレッサ	6	台	空気調和設備	台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2	年度	報告対象年度	6	年度
	終了年度	6	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

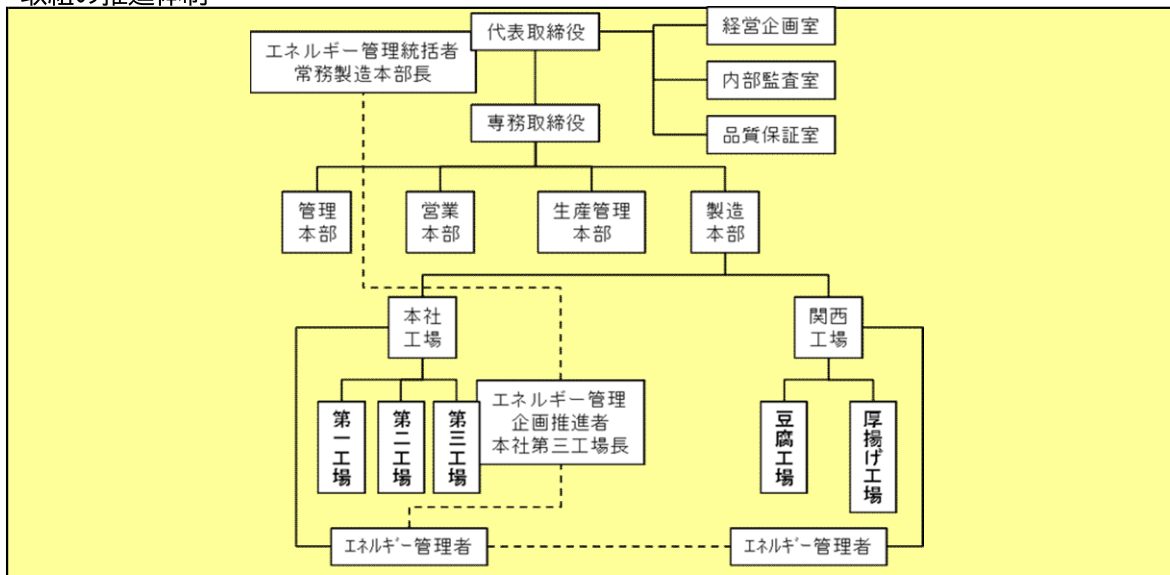
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち[株式会社やまみ]は、省エネルギー活動を効果的に推進することを目的として、「エネルギー使用の合理化に関する法律」(以下「省エネルギー法」)に適合した、製造業として環境に配慮した製品の提供に努めてまいります。

- 1)地球環境に配慮し、エネルギー消費効率の向上及び効果的な使用に努め、エネルギー消費の改善を図ります。
- 2)エネルギーを消費する設備の運転及び保守、点検などに関して、管理標準を設定しこれに準拠した管理を行います。
- 3)エネルギー管理体制の充実に努めるとともに、設備利用の省エネルギーに関する意識の啓発に努めてまいります。
- 4)省エネルギー活動に対して継続的改善を図るとともに職場環境維持・改善に配慮してまいります。
- 5)業務の規模及び性質を配慮し、エネルギー管理方針の遂行に関しては柔軟に運用してまいります。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネ対策として令和2年度から以下の取組みを実施または準備中

- ・工場内水銀灯を順次高効率(LED)照明に交換(R4年度完了)
- ・蒸気配管の保温、蒸気回収の向上(R3~R5年度実施)
R5年度実施分の年間削減放熱量は、2,035,000MJ/年(メーカー見積り値)
- ・エネルギー使用の効率の低下を防止するため、毎月次に設備の状態を確認し、適切に整備、保守管理を行う(実施中)
- ・エネルギー使用について年・月単位の使用量を把握し、過去のデータとの比較・分析し、異状の対応を行う。(実施中)

再生可能エネルギーの利用に関する取組として、令和3年度から以下の取組みを実施

- ・工場屋根に太陽光発電設備(386kW)を設置し、自家消費として活用(実施中)

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	工場内水銀灯を順次高効率(LED)照明に交換	R2～R6	R4完了
2	運用改善	蒸気配管の保温、蒸気回収の向上	R2～R6	R6完了
3	運用改善	給排気ファンを製造設備の稼働状況に応じた運転	R4～R6	一部実施
4	設備導入	太陽光発電設備(386kW)を設置し、自家消費する	R2～R6	R3完了
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組み等により、令和元年度を基準年度として、以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>温室効果ガス排出量 原単位 = $\frac{\text{温室効果ガス排出量}}{\text{工場生産額(百万円)}}$ で毎年1%以上を削減</p> <p>原単位設定の考え方は以下のとおり ・温室効果ガスの排出量は製品目別の生産量に左右されるため、分母には工場生産額を設定する。</p>	<p>(R2年度) R2年度は取組項目1, 2が順調に進展し、目標値以上の成果が得られた。</p> <p>(R3年度) R3年度は取組項目4の太陽光発電導入の前倒しにより、目標値以上の改善ができた。</p> <p>(R4年度) 太陽光発電本格導入および工場照明設備のLED化の完了により大幅な削減が実現した。</p> <p>(R5～6年度) 蒸気配管の保温により省エネが進んだ。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	7,495	8,274	8,162	8,132	8,674	9,682
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	12,788	13,985	14,057	13,103	14,898	16,561
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	12,788	13,985	14,057	13,103	14,898	16,561
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考 「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	太陽光発電設備の設置	R2～R6	R4年1月設置、運開
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	386 kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度
再エネ電気設備での発電量	kWh		78325	423,956	375,569	327,139
上記のうち自家消費量	kWh		78325	423,956	375,569	327,139